

第3会場		開始時間
講演番号	演題・発表者・所属・要旨	
		10:00
		10:15
3 1	<p>温暖地水田における無中耕無培土栽培を前提とした「サチユタカ」の播種期と栽植密度 在原克之*・小山 豊 (千葉県農業総合研究センター)</p> <p>「サチユタカ」は、6月中播種の場合、栽植密度を15本/m²程度とすることにより、無中耕無培土栽培で倒伏を軽減しながら目標収量を得ることができる。一方、7月播種の場合は、20本/m²程度に栽植密度を高める必要があった。</p>	10:30
3 2	<p>麦類をリビングマルチとして利用したダイズ栽培の関東地域への適用 三浦重典*・田澤純子・山本泰由 (農業・生物系特定産業技術研究機構)</p> <p>オオムギ及びコムギをリビングマルチとして利用し、ダイズ、麦類及び雑草の生育等を調査して、関東地域でのダイズのリビングマルチ栽培の可能性について検討した。</p>	10:45

第3会場		開始時間
講演番号	演題・発表者・所属・要旨	
33	<p>中国乾燥地における有機質肥料及び土壌改良剤がダイズの生育に及ぼす影響 礒田昭弘¹⁾・高橋秀一^{*1)}・王 培武²⁾・李 治遠²⁾ (1) 千葉大学園芸学部, 2) 石河子中亜干旱農業環境研究所)</p> <p>中国乾燥地において有機質肥料と土壌改良剤がダイズの生育に及ぼす影響についてダイズの生長、収量、土壌物理性、土壌微生物活性の面から調査した。</p>	11:00
34	<p>発酵鶏糞肥料がラッカセイの生育および収量に及ぼす影響 礒田昭弘・海保ひとみ[*]・大岩拓也 (千葉大学園芸学部)</p> <p>発酵鶏糞肥料を施与した場合の土壌中の窒素の動態と、ラッカセイの生育・収量に及ぼす影響を硫酸肥料と比較し、調査した。</p>	11:15
35	<p>緩効性窒素施肥栽培がラッカセイの生育、収量および根粒形成に及ぼす影響 礒田昭弘・大岩拓也[*] (千葉大学園芸学部)</p> <p>速効性の硫酸と緩効性窒素肥料の LP60S を用いて、ラッカセイを圃場条件下で栽培し、生育、収量および根粒形成について検討した。</p>	11:30
36	<p>収穫期における冠水がラッカセイ莢の表面構造に及ぼす影響 市川達也[*]・松田智明・新田洋司 (茨城大学農学部)</p> <p>収穫期における冠水が、ラッカセイ莢の表面構造に及ぼす影響を、走査電子顕微鏡(SEM)で観察し検討した。</p>	11:45